



神奈川新聞社旗争奪 第46回神奈川県U-12選抜サッカー大会 茅ヶ崎市U-12選抜 ベスト8 決勝トーナメント進出も惜敗

発行：
茅ヶ崎サッカー協会
広報委員会
第 510 号
(Web版 015号)

県下各地域の交流を目的とした、神奈川新聞社旗争奪 第46回神奈川県U-12選抜サッカー大会が、12月11、12、19日に綾瀬スポーツ公園多目的広場他で開催された。参加チームは、横浜・川崎：各2チーム、相模原・藤沢・横須賀・平塚・小田原・鎌倉・大和・厚木・茅ヶ崎・秦野・座間・三浦・足柄上・綾瀬・海老名・中伊勢原・寒川・逗子・女子トレセンU-12 計24チーム。

茅ヶ崎選抜は、予選2位で決勝トーナメントに進出、横浜選抜Bと対戦したが、残念ながら0-2と惜敗した。

【決勝トーナメント】

1回戦 0-2 横浜選抜B ●

【予選結果】

Bブロック 綾瀬スポーツ公園多目的広場

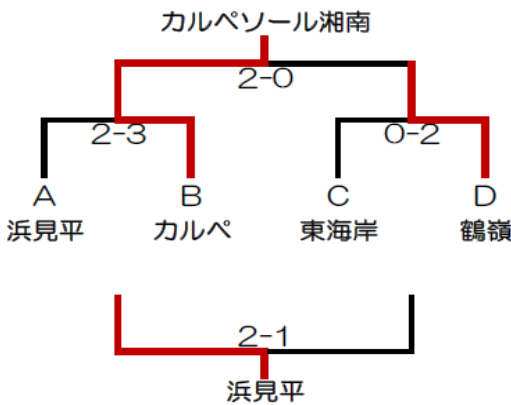
No	都市	三浦	茅ヶ崎	小田原	中伊勢原	綾瀬	順位
①	三浦	-	0-5	2-3	2-4	0-3	6
②	茅ヶ崎	5-0	-	2-1	6-0	0-1	2
③	小田原	3-2	1-2	-	2-1	1-1	3
④	中伊勢原	4-2	0-6	1-2	-	0-3	5
⑤	綾瀬	3-0	1-0	1-1	3-0	-	1
⑥	三浦	2-0	0-3	0-2	2-0	1-3	4

令和3年度協会長杯 (U10) 優勝:カルペソール湘南

2021年協会長杯4年の部、11月23日、12月11日予選リーグ、12日決勝トーナメントが行われた。決勝戦は、リーグ戦優勝の鶴嶺FC対カルペソール湘南の対戦。熱戦の末、カルペソール湘南が優勝しました。

各チーム共に、年明けの日産カップ(県選手権大会)での活躍が期待出来る試合でした。

4年の部決勝トーナメント



【予選ブロック結果】

Aブロック

	梅田	松浪	浜見平
梅田	-	1-2	0-4
松浪	2-1	-	0-6
浜見平	4-0	6-0	-

Bブロック

	小出	浜須賀	松林	カルペ
小出	-	0-3	4-1	0-15
浜須賀	3-0	-	1-2	0-6
松林	1-4	2-1	-	0-3
カルペ	15-0	6-0	3-0	-

Cブロック

	東海岸	50.4	小和田
東海岸	-	1-0	8-0
50.4	0-1	-	2-2
小和田	0-8	2-2	-

Dブロック

	鶴が台	鶴嶺	今宿
鶴が台	-	0-5	1-1
鶴嶺	5-0	-	10-0
今宿	1-1	0-10	-

【結果】

優勝：カルペソール湘南
準優勝：鶴嶺FC
3位：浜見平JSC
敢闘賞：FC東海岸



第4回茅ヶ崎市U-12選抜大会 茅ヶ崎選抜 2連覇!

第4回茅ヶ崎市U-12選抜大会が、柳島スポーツ公園競技場で28日行われた。

参加チームは、横須賀、伊勢原、藤沢、鎌倉、平塚、小田原の各市選抜チームと茅ヶ崎市選抜、U-12の8チーム。予選ブロックの結果による上位、下位トーナメントでの対戦。茅ヶ崎市選抜が、伊勢原市選抜を破り、優勝。大会2連覇となりました。

[結果]

優勝 茅ヶ崎市選抜	第5位 平塚市選抜
準優勝 伊勢原市選抜	第6位 鎌倉市選抜
第3位 藤沢市選抜	第7位 茅ヶ崎U-12
第4位 横須賀市選抜	第8位 小田原市選抜



令和3年度 U-9フットサル大会 優勝:FC東海岸

12月5日カルペスポーツパークにて、令和3年度U-9フットサル大会が開催された。新型コロナ緊急事態宣言の影響で延期されていた大会である。普段の試合とは違うルールに戸惑いながらも、必死にボールを追いかけていた。



各パート別表彰チーム

1位パート優勝	FC東海岸
1位パート準優勝	カルペソール湘南Y
1位パート第3位	カルペソール湘南W
1位パート敢闘賞	FC50.4Y
2位パート 1位	小和田FC
3位パート 1位	FC浜須賀
4位パート 1位	鶴嶺FC

~コーナーフラッグ~

茅ヶ崎サッカー協会 副会長 佐藤公司

「少年・少女サッカー指導に“ライセンス”取得の時代」

数年前より、四種(少年・少女)の指導に公認指導者ライセンスの取得が必要条件となっている。D級以上の来選手取得者がチームに1名以上在籍していなければならない、県中央大会のベンチにはライセンス取得者がいなければならない等々、大変な様変わりの時代である。

勿論、審判については、かなり以前からチームに1名以上4級以上の審判資格者が帯同していなければならない、という必須の条件があった。主審・副審をやる関係上、各チームには複数の4級以上の審判資格者がいる。

これもサッカーの質を向上させるための大事な役割である。日本サッカー協会の公認指導者ライセンスには、キッズリーダーに始まり、D級コーチ、C級コーチ、B級コーチ、A級コーチ、S級コーチとレベルがアップしていく。今、四種に求められているのは、D級以上のライセンスである。

目的は、サッカーの質の向上である。そのためには、指導(者)のレベルを上げようということである。サッカーに限らず、どのスポーツでも指導者によって、チームのレベルは大きく変わる。市内各チームも、今いる指導者を1名から複数にしようと考えている。

しかし、ライセンス取得の過程はなかなか難しい。指導実践というコーチング講習後の筆記試験や実技試験をパスしなければならない。難しく厳しいけれど、今後チームコーチ数人は、ライセンス取得を目指しサッカーの質、チームの質を上げるべく難関に挑戦してほしい。

一方、今までのようにボランティアコーチ(地域のコーチ、卒団先輩コーチ、お父さん・お母さんコーチ等)はこれまた大切であることは何ら変わらない。これまでも、これからも、この存在なくして市内各地域のサッカーは育たないのである。サッカー指導には、多岐多様な様々な役割がある。やはり多様な指導者と共に“ワンチーム”として協力し機能させ、子ども達を育てていきたいものである。

茅ヶ崎サッカー協会Web広報版

<https://m.facebook.com/茅ヶ崎サッカー協会-816806031781254/>